

線形のため時間帯によって
は渋滞になる。これまでの
対策や今後の課題を伺う。

市長 市が交差点用地とし
て土地を取得しているが、
整備には町会等との合意が
必要と考えている。引き続
き町会等の意見を聞きなが
ら交通状況の変化を見つつ
対策を検討していく。

議員 東八道路から市道第
64号線へ入ってくる車の速
度が速いため、制限速度を
時速30キロから20キロへ変
更するよう牟礼東町会から
要望が出ている。道路管理
者としての所見を伺う。

都市整備部長 啓発看板や
ポストコーンの設置など道
路管理者として可能な対応
をしてきた。今後も状況を
把握しながら必要に応じた
対策をしていきたい。

議員 東八道路から人見街
道へは市道第18号を經由す
るのが都の想定だったが、
実際は市道第64号や市道第
65号を經由する車が多い。
この対策として市道第64号
交差点手前にUターン路を
都が設けると聞いているが
設置はいつ頃になるのか。

都市整備部長 都が町会等
の意見を聞きながら警視庁
と協議を進めているが設置
時期は未定と聞いている。

議員 外環道の開通により
東八道路や周辺の一般道の
交通量はどのように変化す
ると見込まれるのか。

第三副市長 事業者である
国と都が推計すると聞いて
いる。外環道周辺の交通対
策は重要な課題であり、推
計結果の公開と対策を求め
ていきたい。



自民クラブ
池田 有也 議員



西部の医療アクセス改善の早期実現を

答 医療機関の誘致とデマンド交通の
ネットワークを一体的に整備したい

議員 A・Iデマンド交通は
昨秋、井口・深大寺地区ま
で実証運行エリアが広が
り、地元住民から感謝の声
が寄せられている。最近で
は利用者の多さから予約が
取りにくくなってきたと
り、本格導入の際は車両の
増台を検討すべきだ。

市長 運行事業者との協議
や地域公共交通活性化協議
会での議論を踏まえ、可能
なところから改善に取り組
んでいきたい。

議員 路線バス乗り場から
遠い井口の住宅街などに乗
降ポイントの増設を望む声

本件誘致はA・Iデマンド交
通の乗降ポイントについて
協力することを公募条件の
一つとしているため、交通
不便地域からのアクセスも
構築できると考えている。

議員 地元の期待も大きい
ちづくりを目指したい。



自民クラブ
加藤こうじ 議員



消防団の認知度を高める継続的広報を

答 地域防災力の中核である消防団活動
の市民及び職員への浸透に努める

議員 消防団は地域住民の
安全安心を確保するために
欠かせない存在だ。本市消
防団の現状と課題について
所見を伺う。

危機管理担当部長 条例定
数24人に対し本年4月1日
現在の団員数は18人で定員
割れの状況だ。分団によっ
ては出動の際に最低人員が
集まらないなどの課題が生
じており、団員要件の見直
しも含め検討している。

議員 都市部では地域組織
活動になじみが薄い住民が
増え、消防団と消防署との
区別がつかない市民も多数
いる。地域防災に欠かせな
い消防団について、市民に
継続的に広報していく必要
があるのではないかと。

危機管理担当部長 ホーム
ページや広報紙など、様々
な媒体でPRし、認知度の
向上に積極的に取り組む。

議員 市内で大災害が発生
した際には市職員と消防団
員が連携して活動すること
になる。連携体制はどのよ
うになっているのか。

市長 災害時には団の事務
局である防災課職員と協力
して消防団本部を設置し、
市や消防署とも連携しなが
ら、全市に展開する各分団
が速やかに災害対策活動に
当たることになる。

議員 市職員が消防団各分
団の管轄エリアや活動状況
等をしっかりと理解した上
で、様々な場面で市民にア
ピールすることが重要だ。

危機管理担当部長 これま
で主に防災課で取り組んで
きたが、今後は市の組織内
部に向けた消防団活動のア
ピール等も含め取り組んで
いく。



公明党
佐々木かずよ 議員



地域で孤独・孤立を支える取り組みを

答 地域に密着した活動をする市民の力
を借りる仕組みづくりも検討したい

議員 政府が初めて行った 孤独・孤立の実態把握に関

する全国調査の結果では、
相談相手の有無によって孤
独感に大きな差が出てい
る。地域における孤独・孤
立対策の仕組みが必要だ。

市長 関係機関、関係部署
との連携を深めるとも
に、実態の把握と支援体制
の強化に努める。

議員 地域の人の力を借り
て、孤独・孤立に悩む人を
行政や関係各所につなげる
仕組みも必要ではないか。

第二副市長 ほのぼのネッ
トワーク、給食ボランティア
など地域に密着した活動
をしている方の協力を得て
孤独等に悩む人を支える仕
組みをつくっていききたい。

議員 能登半島地震では自
治体が備蓄していた携帯ト
イレが全く足りなかったと
聞く。災害に備えて携帯ト
イレの備蓄計画を見直すべ
きだ。

子ども政策部長 様々な公
共施設で推進しており、国
や都の補助制度の活用も含
め、更なる地域での居場所
づくりの支援を検討する。

議員 学費値上がりや食料
費高騰で奨学金の返済に苦
労する若者は少なくない。
市独自の奨学金返済支援に
取り組んでどうか。

市長 仕組みを設けたい気
持ちはある。国や日本学生
支援機構の動向を注視しな
がら真剣に考えたい。

議員 結婚を希望する若者
を支援するため、本市でも
相談窓口の開設や出会いの
場の支援などを積極的に推
進すべきだ。

DX推進担当部長 結婚支
援のニーズはあるため、都
の婚活マッチングサービス
「TOKYOふたりSTORY」
などの結婚支援事業
を周知するとともに、他自
治体の取り組み事例を研究
していきたい。

議員 A・Y世代のがん患
者は福祉用具の貸与などに
介護保険制度が適用されず
経済的負担が大きい。都の
助成を活用し、がん闘
う若者を支援すべきだ。

健康福祉部長 他自治体の
先行事例を参考にしながら
検討していきたい。



公明党
大倉あき子 議員



結婚を望む若者への積極的な支援を

答 都の支援事業を周知するとともに
他自治体の取り組みを研究したい

議員 こども基本法におい
て、地方自治体は子どもに
関する施策の策定・実施・
評価に当たり、若者等の意
見を聞くことが求められて
いる。本市はどのような方
法で意見聴取をするのか。

市長 アンケートやワーク
ショップ、施設利用者との
会話などを想定している。
こちらから近づく姿勢で、
意見を集めていきたい。

議員 若者視点に立ったま
ちづくりの一環として家
も学校でもない第3の居場



「TOKYOふたりSTORY」のホームページ



公明党
赤松 大一 議員



成人歯科健診の対象年齢を拡充せよ

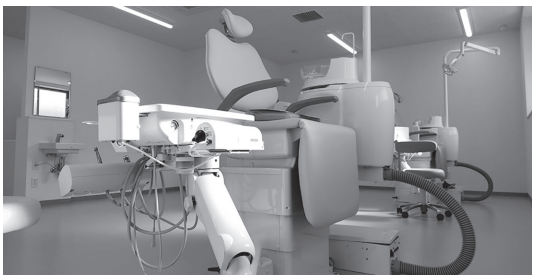
答 20歳から34歳への健診について
歯科医師会と意見交換を行っている

議員 厚生労働省では歯周
病のリスクが確認できる簡
易検査キットを活用したモ
デル事業を行い、多くの
人が口腔ケアに関心を持っ
てきたと聞く。本市でも
この検査を実施すれば歯
科健診受診や治療の勧奨に
つながるのではないかと。

健康福祉部長 国の研究結
果などの動向を注視し、実
施の可能性について調査研
究を進めていく。

議員 歯周病は若い世代で
も発症し、他の病気を引き
起こす原因にもなる。成人
歯科健診の対象者を20歳以
上に広げてはどうか。

健康福祉部長 健康増進事
業実施要領が改正され、対
象者に20歳と30歳が加えら
れた。現在、歯科医師会と



休日歯科応急診療所(三鷹市休日・夜間 診療所・薬局)

情報を共有し意見交換を行
っているところだ。

議員 認知症は早期発見と
適切な対応で急激な進行を
防ぐことができる。無料の
もの忘れ検診を導入するこ
とについて所見を伺う。

健康福祉部調整担当部長